

□ 次の詩を読んで、後の問いに答えなさい。

ドモ アリガト

覚 和歌子

ヨウコソ いらしやいました
わたしたちの村に

わたしたちの村には なんにもありません

※¹ ミロクボサツも ※² セイボマリアも ① おられません

あるのは あの ② 気前のいいおてんとサマと
はだかで暮らす わたしたちばかりデス

③ わたしたちの村では

1よりほかの数字は幻デス

魚も鳥も木も花も

持ち主がいらないので

数えるテーマがいらないのです

わたしたちの村の人は

④ ドラマチックな事件というのを おこしません

だから 退屈しないように

お芝居や音楽が おおはやりです

ああ それでゲイジユツノスイジュンが高いのですねって

そのこと よく言われますけど

⑤ それ わたしたちの言葉になおすと 何になりますカ

問1 傍線部①「おられません」の意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア いることができません

イ いないかもしれません

ウ いらっしゃいません

エ いるかわかりません

問2 傍線部②「気前のいいおてんとサマ」は、何のどのような様子を表現していますか。表現技法に注意して、十五字以内で答えなさい。

問3 次の文は第二連について説明したものです。文中の空欄A・Bに入る最も適切な表現を後の選択肢からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

第二連の前半二行の表現からは、この村の人々の（A）暮らし方が読み取れ、後半二行の表現からは、（B）暮らし方が読み取れる。

《A》

ア 心の支えとなるような特定の存在を必要としない

イ 争いや悩みの種になるような出来事がない

ウ 村人をまとめる特定の統率者を必要としない

エ 日々の祈りの対象とするような像を持たない

《B》

ア 昔からの伝統や習慣を変えずに守り通す

イ 全く何も持たず服すら所有していない貧しい

ウ 社会の常識にとらわれまいとする自由な

エ 自然と一つになり自分を飾ることのない

お祭りは にぎやかですよ

結婚式もお葬式も おおさわぎします

おめでとう おめでとうって

みな よろこびます

死んだ人に 会えなくなつて寂しくないのかって

そりゃ 見えないのは寂しいでスけど

⑥ 見えないだけだし

ほら そのうち また会えるからうれしいです

静かでしょ

⑦ ほんとは ここではあんまり しゃべらない

大声も出さない

最後に言いたいこと でスカ

あなたに会えて とてもうれしい

⑧ ともだちになれて うれしい

シャシン 撮りますか はい チーズ

わたし 今日みたいな空の色の日は

かならず あなた ⑨ 思い出せますから

あなたに 会えて よかったです とても うれしい

⑩ ドモ アリガト

（『ゼロになるからだ』より）

※1 ミロクボサツ…「弥勒菩薩」のこと。仏様の一つ。

※2 セイボマリア…「聖母マリア」のこと。

問4 傍線部③「わたしたちの村では／1よりほかの数字は幻デス」とありますが、この村で「1よりほかの数字は幻デス」であるのはなぜですか。その理由として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 全てのものを個別に理解しているから、数を覚える必要がないから。

イ 自然は特定の誰かのものではないので、数で管理する必要がないから。

ウ 全てのものは村人全体で共有しているので、数を数える必要がないから。

エ 自然の営みは人間の活動とは無関係なので、数でとらえる必要がないから。

問5 傍線部④「ドラマチックな事件というのを おこしません」とありますが、このように述べた村人の心情として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 外の世界の刺激的な生活に憧れを感じている。

イ 事件のない村の暮らしに高い誇りを感じている。

ウ 穏やかな日々を当然のものと感じている。

エ 平凡な村の日常を物足りないと感じている。

問6 傍線部⑤「それ わたしたちの言葉になおすと 何になりますカ」という表現からわかる、村人についての説明として、最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア この村の人たちは、物事の価値を他と比較して判断することがない。

イ この村の人たちは、お芝居や音楽について語る言葉を持っていない。

ウ この村の人たちは、村の外で使われる抽象的な言葉が理解できない。

エ この村の人たちは、よいお芝居や音楽を求める気持ちはない。

問7 傍線部⑥「ほら そのうち また会えるからうれしいです」という表現は村人のどのような考え方に基づいたものですか。次の文章の空欄A～Dに入る適切な表現を指定の字数で答え、説明を完成させなさい。

この村の人にとって、生死の違いは、相手が【A(三字)】か【B(四字)】かの違いである。つまり、いづれ誰もが死後の世界で【C(二字)】でき、死は【D(二字)】の別ではないという考え方に基づいている。

問8 傍線部⑦「ほんとは ここではあんまり しやべらない／大声も出さない」は、言葉に頼らずに互いに理解し合っている村人の様子を表しています。この様子を簡潔に表現している四字熟語を答えなさい。

問9 傍線部⑧「シャシン」と詩中で同じ働きを担っているものを抜き出し、答えなさい。

問10 傍線部⑨「思い出せマス」の主語を詩中から抜き出し、答えなさい。

問11 傍線部⑩「ドモ アリガト」とありますが、このように述べた村人の心情として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 「あなた」と会えたうれしさが伝わらなかったで、仕方なく相手の言葉を使って気持ちを伝えようとしている。

イ 「あなた」も会えたことを喜んでくれているとわかったので、お礼を述べることで誠意を伝えようとしている。

ウ 「あなた」に嫌われたくないので、相手の言葉を積極的に使うことで、好意を伝えようとしている。

エ 「あなた」と友達になれてうれしいので、相手に合わせた表現で確実に気持ちを伝えようとしている。

問12 次の各文について、本詩の内容と合うものを全て選び、記号で答えなさい。

ア 現代社会で見落としがちな心豊かな世界を理想として描いている。

イ 貧しい村が、今後外部との交流の中で次第に発展していくことを予想させる。

ウ 平和な生活を守るために、村人は外部との交流をできるだけ避けている。

エ 表記の一部をカタカナにすることで、そこに注目させる効果を生んでいる。

オ 二人の会話のやりとりを、村人一人の語りだけで表現している。

カ 多くの村人の日常生活から、村の生き生きとした様子を表現している。

ではありません。「楽しいか」「楽しくないか」が第一の判断基準です（ここが「法律とルールの違うところ」です）。

しかし、あることが「楽しいか」どうかは、^②あくまでその人の主観です。だから、「つまらない」と感じる人がいるのは、当然です。「つまらない」と感じる人は、「おもしろい」と感じる様にルールカセイをするか、あるいは他の「おもしろい」と感じる競技、またはスポーツ以外のことをすればいいのです。スポーツは、「そのルールでもおもしろい」と感じる人が集まってプレーするものなのです。「スポーツはするけどルール違反もする」というのは全く無意味なことであることが分かりましたね。

ゲームを楽しむためにある「ルール」が果たす機能は、三つに分けることが可能です。

一つは「空間・時間・人数・形式」などの物理的な条件に関する「公平さ」と「共通化」です。全員がスポーツについて共通の理解をしておかなければ、一緒に楽しく遊べませんから。

第二に「暴力を抑制すること」です。暴力的では楽しく遊べませんからね。以上の二つに収まらない項目を集めて、「その他」という三番目のグループを作ると、このグループが^③妙なものの集まりであることに気付きます。ここに収まっている各条項は、何のためにあるのだろう、と分析すると、何と（一）得点や勝利することを「難しくする」ためにあることが分かります。そして、どうもこの「やりにくい条件」を作り出すことがルールの重要な機能なのです。

サッカーはなぜ手が使えないのでしょうか？ ラグビーはなぜボールを前に投げてはいけないのでしょうか？ バスケはなぜダブルドリブルを禁じているのでしょうか？ そこには、^④理由らしい理由などありません。これらは、単に「得点するのを面倒くさくする」以外に存在する理由はないのです。

なぜでしょうか？ 実は、答えは意外に簡単。最初に確認したように、ルールは「楽しんでプレー」するためのものだから、「面倒にすることが、楽しむために必要」だからなのです。これがスポーツの基本的な考え方です。ちよつと思議な感じがするでしょう。

「ボールを前に投げることはOK」にしてしまうとラグビーは楽しくない、と思つた人たちが集まって、それを「反則」にすると合意したのです。オフサイド

【二】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

スポーツマンシップとは何のことか、それを理解するためには、第一に「スポーツとは何か」を理解しておかなければなりません。「そんなこと知ってる」って？ 本当ですか？ では、問題。「あなたの好きなスポーツの絵を描いてください」。持ち時間は一分です。

どんな絵を描きましたか？ おそらく、プレーしているプレーヤーや、競技に関係する道具（ボールやスパイクやゴールなど）を描いたのではありませんか？ それらは、「プレーヤーの絵」であり、「道具の絵」ですが、「スポーツの絵」ではありません。正解は「スポーツは絵に描けない」です。もちろん「写真にも撮れない」です。なぜならスポーツとは「ルール」のことなのですから。^①よく分からない？ それは困りましたね。では、まず「ルール」について考えましょう。

「ルール」はなぜあるのでしょうか？

スポーツを理解するために最初に確認しておきますが、スポーツは人間が楽しむためのものです。これが発点です。決して「世の中に無ければならないモノ」でもなければ、生きるためにどうしても「必要なモノ」でもありませんが、楽しむためのモノであり、そのスポーツで楽しむために「ルール」があるのです。

そして、ルールのもとで勝敗を競いますが、このことが楽しくないのであれば、スポーツをする価値はありません。他のことをやった方がずっとマシです。なぜなら、スポーツは「Play/プレー」（＝遊び）だからです。遊びである以上、好きにならなくてはいけないモノではありません。好きでないなら、しなければいいのです。決して無理をする必要はありません。

スポーツへの参加は強制されるのではなく、自由意思によるものでなければ、「遊び（＝遊ぶ）」になりません。皆さんは親から「パソコンでゲームをしなさい」と言われたことは無いでしょう。それはゲームだからです。ゲームは「遊び」だから、強制されたら「遊び」にならないのです。

「ルール」とは楽しむための具体的な約ソク事、つまり、「プレー（遊ぶ）」するために存在するのです。「ルール」というのは「いい」「悪い」を判断するもの

がなければ、サッカーの魅力はハンゲンすると思つた人たちが、同じくそれを「禁止」として合意したのです。これらのルールに記された具体的な条項には、「何がおもしろいのか」を判断したうえで、競技の参加者によって検討した結果、皆で合意したという歴史的な背景があるのです。そこを理解しておくことは、スポーツを理解するうえで最も重要なポイントです。

何しろ、こういった背景はルールの中に文章として書かれていませんので、それ自体はルールではありません。しかし、プレーする人は事前に理解しておく必要があります。書かれていないけれど、前提になっていること、それが「原則」というものです。

例えば、商売をする人が契約をする場合、契約する当事者どうしには、そもそも「契約は守るもの」という原則が事前に了解されていなければ契約しても意味がありません。「嘘をつくな」なんてことは法律には書いてありませんが、いけないことだということは皆が知っています。こんなことは大人に言うべきことではなく、子どもの時に「しつくて」おくべきです。同様に、「ルールは守る」という原則のうえに、「ルール」は成立しているのです。原則というのは、簡単に言えば、いちいち言う必要がない「当たり前のこと」なのです。

例えば、「勝つために努力せよ」とはルールに書かれていませんが、勝とうと努力しないのであれば、スポーツは無意味です。「勝とうと思わない相手」と対戦したら、全然おもしろくないはずで、「勝つために努力する」のは、事前に合意された「原則」なのです。

整理すると、スポーツをプレーする人は、（ルールに書かれてるように）「暴力を振るわないで、わざわざ面倒なことを守らなければならない」ことを事前に了解したうえでプレーをすることが前提になっているのです。

実際にプレーすると分かるでしょうが、^⑥この書かれていない「原則」を守るということは、簡単なようで実は難しい。相当な覚悟が必要です。恐らく、「勝とうと努力する」ことより、数倍の覚悟が必要だと思ひます。なにしろ勝つために一所懸命プレーしていると、カッとするのが頻繁にあるはずで、熱中すればそんなことは、むしろ当たり前です。この「当たり前」のことをしないためには、それなりの覚悟がいるはずで、だから、逆に、それができる人は尊敬に値します。^⑦スポーツマンが尊敬されるのは、そういう理由があるからです。

これは、放っておいたらできません。サッカーで相手選手のユニフォームを掴んだほうがディフェンスはしやすいでしょう。でも、やってはいけません。ラグビーなら「ボールを前には投げない覚悟」がどうしても必要なのです。

スポーツをする以上、「ルール」に書いてある具体的な条項を守ることは当然ですが、それだけではスポーツマンと名乗ることはできません。「ルール」が何故必要かという原則を理解して、その原則を守る覚悟を持たないならば、本当はスポーツをしてはいけないのです。してもいいけど、それはあまり意味がありませんね。ルールは楽しむためにあるのですから、ルールを守って楽しくないならスポーツをやる意味はありません。スポーツに参加するかどうかは、あくまで当人の「X」ですが、参加して楽しむとするなら、それなりの覚悟が必要だということです。

こうした原則を守る覚悟のことをスポーツマンシップと呼びます。この視点に立つて選手B宣誓を言い換えますと、「我々は、スポーツの本質を理解し、そのうえでスポーツをYのために、スポーツの原則を守る覚悟を持ち、ルールに従って、正々堂々と戦うことを誓います」となります。これが正解。

(広瀬一郎「スポーツマンシップとは？」高峰修編『スポーツ教養入門』より)

問1 太線部 a c のカタカナを漢字に直しなさい。

問2 太線部 A・B の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問6 傍線部④「理由らしい理由」の意味として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 一般人には理解できない専門的な理由。
- イ 聞けばすぐに同意できる道徳的な理由。
- ウ 誰もが自然と納得できる常識的な理由。
- エ 現代人には想像できない伝統的な理由。

問7 傍線部⑤「歴史的な背景」とありますが、これはどのようなことですか。適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 競技者が困難を乗り越えていきながら、プレーすることの楽しさを感じていったということ。
- イ 競技者が技術の向上よりも楽しさの追求が大切であると、共通に理解してきたということ。
- ウ 競技者が決めてきたルールは文章化されてはいないが、重要視されてきたということ。
- エ 競技者がスポーツを楽しむために、創意工夫しながらルールを作り上げてきたということ。

問8 傍線部⑥中の「この書かれていない『原則』を言い換えたものとして、適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 勝つために努力すること
- イ ルールを守ること
- ウ 暴力を振るわないこと
- エ 嘘をつかないこと

問3 傍線部①「よく分からない？ それは困りましたね」という表現から筆者のどのような意図が読み取れますか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 読者の中にスポーツのことが「よく分からない」人がいるらしいことにまどいを感じ、期待はずれであると伝えようとしている。

イ 読者の大半が「ルール」を「よく分からない」ままに、イメージだけでスポーツを楽しんでいる現状を伝えようとしている。

ウ 読者の中には「よく分からない」人も少しはいることを考慮し、そのような人たちへも分かりやすく説明していこうとしている。

エ 読者の大半が「よく分からない」のは予想していたことであり、「ルール」が必要な理由を説明するきっかけを作ろうとしている。

問4 傍線部②「あくまで」の意味として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア ほとんど
- イ どころなく
- ウ おそらく
- エ いかにも
- オ どこまでも

問5 傍線部③「妙な」と同じ意味を持つ言葉を、傍線部③以降の本文中から四字で抜き出し、答えなさい。

問9 傍線部⑦「スポーツマンが尊敬されるのは、そういう理由があるからです」とありますが、筆者は、スポーツマンが尊敬されるのはどのような理由があるからと述べていますか。百字以上百二十字以内で分かりやすく説明しなさい。

問10 空欄Xに入る語を本文中から四字で抜き出し、答えなさい。

問11 空欄Yに入る語を本文中から三字で抜き出し、答えなさい。

問12 次の説明のうち、本文の内容と合うものにはAを、合わないものにはBをそれぞれ答えなさい。

- ア スポーツでは対戦相手を尊敬するべきであり、相手を勝たせてあげようと思っくらの心の余裕が必要である。
- イ ルールは善悪の判断によって作られたものではなく、プレーする喜びを味わうために作られたものである。
- ウ スポーツは本来遊びであり、ルール違反を厳しく取りしまらない方がみんな楽しくプレーすることができる。
- エ スポーツのおもしろさは、肉体的な疲労ですら楽しいものにしようと工夫されたルールによって支えられている。
- オ ルールには、時間・空間などの物理的条件を制限し、参加者全員を公平な立場に置くという働きがある。